

京都市ふるさと納税寄付金 充当事業報告書

京都市ふるさと納税寄付金に御寄付を賜り、心より御礼申し上げます。

皆様から頂戴いたしました寄付金を活用させていただき、下記の事業等に取り組んでおりますことを御報告申し上げます。

京都市は千二百年を超える悠久の歴史と文化が息づき、山紫水明の自然と美しい街並みが、世界中の多くの人々を魅了しています。こうした京都の魅力を次世代に伝えていくために、これからも多彩な取組を進めて参りますので、引き続き、皆様からの御支援の程をよろしくお願い致します。

令和4年8月吉日

京都市長 門川 大作

令和3年度の主な活用事業

京都らしい美しい景観の保全・継承

京町家保全・継承推進事業

京町家は、京都らしい町並み景観及び生活文化の象徴であり、京都の魅力あるまちづくりの資源として、市民の貴重な財産であるとともに、京都だけでなく、日本の、そして世界の宝です。この京町家の保全・継承を図る取組を推進しています。

その取組の一つとして、京都市京町家の保全及び継承に関する条例に基づく個別指定や指定地区内の京町家の保全・継承に必要となる大規模改修や維持修繕の工事に要する費用への支援を行いました。



改修前



改修後

暮らしと心の豊かさにつなげる「文化首都・京都」の実現

伝統行事助成（祇園祭山鉾修理）

日本三大祭として知られる祇園祭の維持継承のための事業です。重要有形民俗文化財「祇園祭山鉾」で老朽化・破損の著しい部分を復元新調することで、行事を安全かつ安心して執行することができます。

令和3年度は、放下鉾の下水引（南面）、橋弁慶山の前懸、鶏鉾の軒桁の復元新調事業を実施しています。



放下鉾の下水引（南面）

京都市にお任せ

無電柱化事業

風情豊かで歴史的な町並み景観の保全・再生、都市の防災機能の向上、安全で快適な歩行空間確保等を目的として、通りから電柱・電線類を無くす「無電柱化」を昭和61年度から進めております。

多様な整備手法の活用により、コストの縮減を図りつつ、無電柱化の推進に取り組み、令和3年度には先斗町通無電柱化事業の整備が完了しました。



施工前



施工後

地域と文化を支える伝統産業や商業などの振興

伝統産業の情報発信強化等（京の「匠」ふれあい事業）

市民、観光客等への伝統産業のPRなどを目的に、小・中学校に職人を派遣し、その卓越した技術を活かした制作実習、制作実演等を実施しました。

また、京都伝統産業ミュージアム等においても、職人による制作体験教室、制作実演等を実施しました。



（左）京焼・清水焼職人による抹茶碗絵付け実習の様子
（右）実際に制作された抹茶碗

京都市立芸術大学移転整備

～「文化芸術都市・京都」の新しいシンボルゾーンを創生～

芸術大学移転整備事業

京都の都市格と魅力向上を図り、千年の都・京都に息づく文化を世界に発信するまちづくり、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーン創出の核となる、京都市立芸術大学の移転整備事業に取り組んでいます。

令和5年10月に、京都市立芸術大学を京都の玄関口・JR京都駅東部エリアへ移転するため、令和3年4月に新キャンパスの建築工事に着手し、順調に工事を進めているところです。



（左）京都市立芸術大学移転整備の完成イメージ【北側外観・塩小路河原町より】
（右）工事の様子【令和4年7月 西側から撮影】

未来を担う子どもたちを応援！～教育環境の充実～

学校増収容・小中一貫校整備・長寿命化改修等

(子どもたちの教育環境の充実を目指した取組)

子どもたちが安心して充実した教育活動を行えるよう、環境への配慮やバリアフリー化を行いながら、老朽化した校舎の長寿命化改修を実施するとともに、児童・生徒数が増加傾向にある学校での必要な増(改)築等の整備に着手しました。また、小中一貫校のより良い教育環境の実現に向け、整備設計を進めました。



(左) 京都市立西院小学校整備工事の完成イメージ【外観】
(右) 同【内装】

新型コロナウイルス感染症対策支援

新型コロナウイルス感染症対策

(休日の診療・検査体制整備に係る支援金)

休日(日曜・祝日)や、ゴールデンウィーク、お盆及び年末年始などの連休における診療・検査体制の確保に万全を期すため、令和3年度には、協力いただいた医療機関延べ161箇所に対して、支援金を交付しました。

加えて、年末年始には、本市が医療機関の連絡先等を公表し、本市又はきょうと新型コロナ医療相談センターを介さず直接来院しても受診できる体制を整備いただいた協力医療機関2箇所に対しても、支援金を交付しました。